



## 正しいサービスの選択

監査、レビュー、調製、合意された手続の  
サービスの比較

貴社は、ますます困難で複雑で、そして常に変化し続けるビジネス環境でかじ取りをしています。貴社の会計士は、かじ取りの支援をします。

会計士は、貴社の信頼できるアドバイザーとして、また事業のパートナーとして、貴社の事業の成長に不可欠な専門的なサービス、客観的なガイド、専門的な助言を提供するとともに、適用される法令の遵守をサポートします。

貴社の目的に合わせてカスタマイズできる、多様な財務報告サービスを提供することができます。

どのサービスが貴社に適しているかわからない?このパンフレットには、関連する国際基準に準拠して、会計士が提供する監査、レビュー、調製及び合意された手続のサービスの範囲と、それぞれのサービスの異なるメリットが記載されています。

### **適切なサービスを決定する際に、貴社の会計士は貴社が以下の要素を検討するのに役立ちます：**

- ・ 貴社の具体的なニーズ；
- ・ 貴社の財務諸表の利用者（例：投資家、銀行、顧客、サプライヤーなど）；
- ・ 適用される法律や規制；
- ・ 貴社の規模、構造、及び複雑性；
- ・ 資金調達の要求；
- ・ 将来の事業計画。

財務諸表の利用者のニーズについて相談することも有用でしょう。

サービスの種類ごとに請求される報酬は、上記の要因の影響を受けるため、異なります。報酬の見積りは、会計士と協議の上、正式な契約書の一部となります。

監査

レビュー

調製

合意された手続

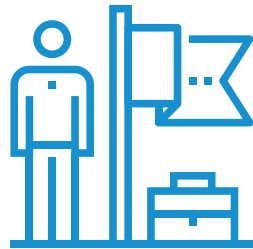
監査、レビュー、調整及び合意された手続の間の重要な違いは以下のとおりです：

業務の種類			
監査	レビュー	調製	合意された手続
基準			
ISA	ISRE 2400 (改訂)	ISRS 4410 (改訂)	ISRS 4400 (改訂)
保証			
合理的	限定的	なし	なし
作業量			
識別されたリスクに 対応したリスク評価と 監査手続	主に質問と分析的 手続	経営者の財務情報 作成の支援	契約条件による 合意された手続
報告書			
意見 (積極的保証)	結論 (消極的保証)	調製業務の内容と 実務家の役割と責任 を伝える報告書。 (保証なし)	合意された手続と 関連する発見事項の 報告。 (保証なし)

# 監査

## 監査とは何ですか？

貴社の会計士は、財務諸表がすべての重要な点において、適用される財務報告の枠組みに準拠して作成されているかどうかについての意見を含む報告書を発行します。意見は、監査人の発見事項によります。監査人が、財務諸表がすべての重要な点において、適用される財務報告の枠組みに準拠して作成されていると結論付けた場合には、「適正」意見が発行されます。これに該当しない場合には、適切に意見が修正されます。



国際監査基準は、絶対的ではないが高い保証水準でこの意見に到達するための十分かつ適切な監査証拠を入手するために、貴社の会計士に様々な監査手続を実施することを要求しています。

## 監査が適切なのはどのようなときですか？

- ・ 法律や規制により監査が要求される。
- ・ 財務諸表の利用者（例えば、投資家など）が、高い水準の保証を求める。
- ・ 外部の利用者（債権者や銀行など）や状況（事業売却の準備の場合など）が、財務諸表の保証を提供するために監査を求める。

## 監査の利点は何ですか？

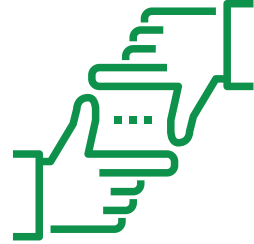
- ・ 監査は、財務諸表における情報の信頼性を高める。
- ・ 内部統制の弱点を特定することにより、ビジネスリスクへの洞察を提供し、改善のための適切な提言を提供することができる。
- ・ (不正又は誤謬による)虚偽表示が発見された場合には、当該企業は、これに対処し、是正することができる。

# レビュー

## レビューとは何ですか？

---

貴社の会計士は、財務諸表が適用される財務報告の枠組みに準拠して作成されているかどうかについての結論を得るために、主に質問と分析の手法を実施します。実施される手続の計画された内容、時期及び範囲は、契約の内容及び状況に依存し（監査手続とは大きく異なる可能性がある）、財務諸表に重要な虚偽表示を生じさせる可能性のある事項を貴社の会計士が認識しているかどうかについての限定的な保証を得るために実施されます。



## レビューが適切なのはどういときですか？

---

- ・ 法定監査は免除されているが、株主や銀行などの利用者が何らかの保証を求める。
- ・ レビューは、経営者による事業の財務情報の内部レビューを支援するもので、追加的なコントロールとして機能する。
- ・ グループの一部を形成する子会社や事業単位について、グループ監査人からレビューを要求される。
- ・ 法律上又は契約上の義務を満たすため、財務諸表のレビューが求められる。

## レビューの利点は何ですか？

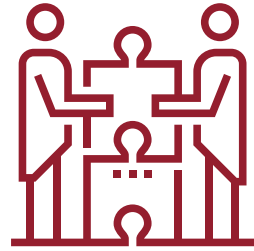
---

- ・ 成長する事業にとって、監査への移行準備となる場合がある。
- ・ 融資の際に役立つ、又は、事業売却の準備や、新たな投資家を探すときに役立つことがある。
- ・ レビューには柔軟性があり、対象を絞っている – 貴社の会計士は、財務諸表の複雑さ、事業の内容や業務の内容に応じて、重要な事項に時間と注意をかけることができる。
- ・ 貴社の会計士は、経営者の注意を引くに値する重要度の高いすべての事項を専門家としての判断において報告することが求められる。

# 調製

## 調製とは何ですか？

貴社の会計士は、会計と財務報告の専門知識を活かして、過去の財務情報の作成と表示への関与によって、経営者を支援します。調整業務は保証業務ではないため、会計士が保証を得ることは全くありませんが、外部の利用者（融資者、保証会社、又は顧客など）は、財務情報の調製に会計士が関与することを高く評価することがよくあります。



## 調製が適切なのはどういうときです？

- ・ 経営者が財務報告の専門知識を持たず、外部の会計士が関与することを好むかもしれない。
- ・ 利用者は、会計士が財務諸表の作成と表示に何らかの関与をしたことを知る必要があるかもしれない。
- ・ 経営者は内部目的のために財務諸表の報告を必要としており、外部の利用者はいない。

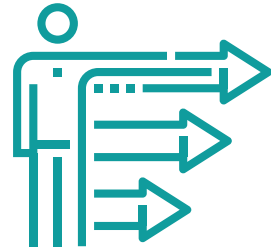
## 調製の利点とは何ですか？

- ・ 貴社の会計士は、重要な虚偽又は誤解を招くような記述を含む文書、報告書、若しくはその他の情報に故意に関与することができない。
- ・ 経営者は、重要な判断を下す、又は技術的な問題に対処する際に、支援を受けることができる。
- ・ 貴社の会計士は、経営者の注意を引くに値する重要度の高いすべての事項を専門家としての判断において報告することが求められる。

# 合意された手続

## 合意された手続とは何ですか？

貴社の会計士は、特定された手続を求める貴社又は貴社以外の依頼者との間で合意された、財務又は非財務項目に関する手続のみを実行します。報告書は、実施した手続と関連する発見事項を伝達するものであり、保証を得るものではなく、結論や意見は表明されません。



## 合意された手続が適切なのはどういうときですか？

- ・ 棚卸資産残高と棚卸資産シートとの比較、買掛金残高と第三者への残高確認書との照合、助成金の使途の追跡、温室効果ガス排出量の再計算など、対象となる利用者のニーズを満たすために、財務又は非財務項目の特定の分野に焦点を絞ることを経営者は望んでいる。
- ・ 経営者は、適用される基準によって要求される一定の開示がなされるという安心感を求めている。

## 合意された手続

- ・ このサービスは、様々な状況に合わせて調整でき、財務又は非財務の個々の項目に焦点を絞ることができるので、柔軟性がある。
- ・ 経営者は、意図した利用者のニーズを満たすために、特定の作業の実施を要求する場合がある。また、外部の利用者も報告形式を指定できる。
- ・ 特定の財務報告プロセス及び統制の効率的な運用に関して、発見事項を報告することができる。
- ・ 合意された手続報告書は、財務諸表の補足資料として含めることができ、財務諸表の特定の要素に関連して、経営者、スタッフ及びその他の利害関係者に追加情報を提供する。
- ・ 合意された手続は、いかなる保証の水準を求めない資金調達や供給者固有のニーズを満たすことができる。

これらのサービスを実施する会計事務所所属の会計士は、高度な品質管理と倫理基準を遵守することが求められています。

国際監査・保証基準審議会 (IAASB) が公表した品質管理に関する国際基準 (ISQC 1)、又はそれと同等以上の要求事項は、すべての会計事務所が IAASB の基準に準拠して財務諸表の監査及びレビュー、並びにその他の保証業務や関連サービス業務を実施する際に適用されます。

IFAC の加盟団体は、IFAC の加盟団体の義務に関するステートメント (SMO) を遵守することが求められており、これには IAASB 及び国際会計士倫理基準審議会 (IESBA) が公表した監査基準及び職業会計士のための国際倫理規程 (国際独立基準を含む) に劣らない厳格な監査基準及び倫理基準の適用と実施が含まれています。SMO は、IFAC 加盟団体が、監査、レビュー、その他の保証業務及び関連サービス業務を行う会員のための品質保証レビューシステムに関する要求事項、並びに会員のサービスを強化し、国際基準への遵守を確保するための継続的専門研修、調査及び懲戒手続についての要件も定めています。



IFAC 中小事務所アドバイザーグループの本文書「正しいサービスの選択」は、2020年12月にInternational Federation of Accountantsが英語で公表したものであり、2021年3月に日本公認会計士協会がIFACの許可を受けて翻訳し使用している。IFACのすべての公表物において、承認されたテキストは、IFACから英語で発行されたものである。IFACは、翻訳の正確性及び完全性に対する責任又はそれらの結果として発生する訴訟に対する責任を何ら負うものではない。「正しいサービスの選択」の英語のテキスト© IFAC 2020年。無断複写・転載を禁ず。「正しいサービスの選択」の日本語のテキスト© IFAC 2020年。無断複写・転載を禁ず。  
原題：Choosing the Right Service  
この文書の複製、保存、転載若しくは送信、又は他の類似する使用の許可に関する情報は、permissions@ifac.orgに連絡されたい。

IFACは、本文書の利用又は適用によって直接的又は間接的に生じるいかなる責任若しくは損失を負わない。IFACの著作物を他者が使用することは、IFACによる関連サービスの推奨や宣伝を意味するものではない。

著作権 © International Federation of Accountants (IFAC) 2020年。無断複写・転載を禁ず。